

# 報告とお礼 11.30「原発つづけるための乾式貯蔵 NO！ 全国集会@高浜 ～使用済み核燃料の行き場はないぞ！～」 （高浜全国集会と略）に 400 人が結集

## 使用済み核燃料の乾式貯蔵は、 電力会社、政府の原発延命策

原発を運転すれば発生する使用済み核燃料は、発生直後には、膨大な放射線と熱を発生しますから、燃料プールで水冷保管しなければなりません。そのプールが満杯になれば、原発を運転できなくなるため、電力会社や政府は、放射線量と発熱量が減少した使用済み核燃料を乾式貯蔵に移して、プールに空きを作ることに躍起です。

例えば、伊方原発3号機では、6年後に燃料プールが満杯になり、原発を停止せざるを得なくなるため、去る7月1日に500トンの乾式貯蔵の運用を開始しました。これによって、原発の運転可能期間は29年に延びました。また、高浜原発では、あと3年でプールが満杯になるため、460トンの乾式貯蔵を画策しています。これを許せば、原発は10年近く延命します。

このように、乾式貯蔵を許すことは、原発の運転継続を許すことになります。逆に、乾式貯蔵を阻止できれば、原発を停止させることができます。乾式貯蔵阻止は、原発全廃への要です。

## 使用済み核燃料の搬出先・再処理工場は うごかない

関電などの電力会社は、乾式貯蔵に移した使用済み核燃料の搬出先として再処理工場の稼働を願望していましたが、昨年8月、日本原燃が27回目の再処理工場の完成延期を発表したため、この願望は破綻しました。

再処理工場には、耐震補強が必要な個所が多数ありますが、その多くは、使用済み燃料を用いたアクティブ試験によって、高濃度の放射性物質で汚染されていて、人が近寄れず、工事は至難です。また、発生する高放射線廃液のガラス固化もトラブル続きで、再処理工場の完成は全く見込めません。乾式貯蔵に移した使用済み核燃料の行き場はないのです。

それでも関電は、乾式貯蔵施設の建設を画策しています。原発延命のための乾式貯蔵であることは明らかです。

## 11.30 高浜全国集会で「乾式貯蔵 NO！」

乾式貯蔵問題で初の全国集会は、3年後に燃料プールが満杯になる高浜原発の立地・高浜町で、11月30日に開催されました。

## 高浜原発周辺での前段集会には 200 人

11月30日11時、高浜原発を臨む音海展望台は、京都、福井、大阪、滋賀、兵庫、奈良、愛媛、香川、首都圏などから大型バス、マイクロバス、自家用車が次々に到着し、幟や横断幕を持つ人々で溢れました。（この日は、定期点検中であつた運転開始後51年の超老朽原発・高浜1号機の再稼働も発表されていました。）

参加者は、「使用済み核燃料の行き場はないぞ！」「原発を延命させる乾式貯蔵 NO！」「老朽原発うごかすな！」「原発全廃！」「自然エネルギーに転換しよう！」の意思を確認し、シュプレヒコールの後、高浜原発北ゲート前までデモ行進し、ゲート前で約40分、断固とした抗議行動を展開しました。途中、関電に申し入れを行い、参加者の意思に関電に突きつけました。

## 高浜町文化会館での本集会には 400 人

関電の「原発延命策＝乾式貯蔵施設の原発敷地内設置」阻止を目指す11.30高浜全国集会（「老朽原発うごかすな！実行委員会」主催）には、原発周辺での前段集会参加者に加えて、愛知・岐阜から大型バスで駆け付けた皆さん、高浜原発周辺の自治体などからの皆さんが結集し、「原発住民運動福井・嶺南センター」の戸嶋久美子さんの司会によって、13時に開会しました。

集会では、まず、木原壮林（「若狭の原発を考える会」「老朽原発うごかすな！実行委員会」、元日本原子力研究所

研究員）が「使用済み核燃料の行き場はない、乾式貯蔵は電力会社、政府の原発延命策」と題して、スライドを使って解説しました。

これを受けて、主催者を代表して中島哲演さんが「使用済み核燃料プールが満杯に近づき、原発延命のために乾式貯蔵が画策されている。原発からの脱却と自然エネルギーへの全面転換を目指そう」と本集会の意義を強調しました。

これに、原発が立地し乾式貯蔵が進む各地から報告が続きました。

女川原発で来年5月にも着工が画策されている乾式貯蔵施設の建設阻止を闘う「みやぎ脱原発・風の会」の館脇章宏さんからのビデオメッセージ、高浜町に住む東山幸弘さんからの高浜原発での乾式貯蔵の策動に関する報告、6年後に燃料プールが満杯になる川内原発の乾式貯蔵に抗して闘う「ストップ川内原発！3.11 鹿児島実行委員会」の向原祥隆さんのビデオメッセージ、青森からは、「核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会」の中道雅史さんが、原発延命のための六フッ化ウラン、使用済み核燃料の青森県への搬入阻止を訴えました（中道さんが体調不良のため、「再稼働阻止全国ネットワーク」のけしば誠一さんがメッセージを代読）。「上関の自然を守る会」の高島美登里さんは、ビデオメッセージで、使用済み核燃料の中間貯蔵施設を拒否し、貴重な生態系を守る決意を寄せられました。

主催・実行委員会の橋田秀美さんのカンパアピールを挟んで、全国各地からの報告が続けられました。

柏崎刈羽から「規制庁・規制委員会を監視する新潟の会」の桑原三恵さんは、ビデオメッセージで、新潟県民の大多数が反対する柏崎刈羽原発再稼働の容認を表明した花角知事を糾弾し、政府、県、東京電力に再稼働撤回を求める決意を述べました。能登の珠洲市から駆け付けた北野進さん（「志賀原発を廃炉に！訴訟原告団」団長）は、パワーポイントを使って、志賀原発で発覚した法令違反を糾弾し、60人の原告による新たな志賀原発差止め訴訟（第3次訴訟）について報告されました。愛知・岐阜からは10数名が登壇し、代表して「老朽原発40年廃炉訴訟市民の会」の草地妙子さんが、老朽原発高浜1、2号機、美浜3号機の運転期間延長認可などの取り消しを求めた仮処分裁判抗告審で名古屋高裁金沢支部が下した決定（11月28日）の不当性を訴えました。「ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン」の佐藤大介さんは、民衆の力で原発ゼロを達成した台湾の反原発運動について報告しました。「オール福井反原発連絡会」の山本雅彦さんは「美浜原発の新增設を許さない！」特別アピールを行いました。

集会の終盤、プラカードアクションの後、本集会には、青森から鹿児島までの23団体から連帯のメッセージが届き、プログラム冊子に収録されていることが紹介されました。

最後に、集会宣言と高浜町への申入れを、参加者全員の万雷の拍手で採択し、町内デモに出発しました。

約1時間のデモは、沿道の町民の注目を集め、各所で激励もいただきました。デモ隊に何度もありがとうと頭を下げられる女性の姿が印象的でした。

なお、11.30高浜全国集会の様子は、STOP 原子力★関電包囲行動のためき御膳さんがYouTubeでご紹介下さっています。是非ご覧ください。

<https://youtu.be/wbCI41UkOqE>

**11.30 高浜全国集会に、ご参加、ご支援いただきました皆様、ありがとうございました。**

（集会では、185,547円の温かいカンパを戴きました。感謝申し上げます、活用させていただきます。）

2025年12月4日

老朽原発うごかすな！実行委員会  
連絡先 090-1965-7102（木原）





前段行動 高浜原発北ゲート前集会（左）、関電への申し入れ（右）



高浜町文化会館での全国集会



全国集会ポテッガーアクション

高浜町内デモ

2025 年 12 月  
1 日  
日刊県民福井  
および  
中日新聞

乾式貯蔵施設ノ！  
県内外400人が集会  
高浜原発周辺  
関西電力が県内3原発で  
計画する使用済み核燃料の  
乾式貯蔵施設に反対する集  
会が30日、高浜町文化会館  
であった。  
県内外の約400人が参  
加し、原発に反対する各地  
の団体代表者が講演した。  
市民団体「ふるさとを守る  
高浜・おおいの会」の東山  
幸弘さん(78)は「関電は  
(2035年末までに県外  
搬出できなかった場合に)  
使用済み燃料を原子炉建屋  
の貯蔵プールに戻すとし  
が、プールの貯蔵容量はほ  
ぼ満杯だ」と指摘し「原発  
を動かし続けるための乾式  
貯蔵施設には断固反対だ」  
と話した。



街頭デモで、乾式貯蔵施設  
の設置に反対を訴える集会  
参加者たち＝高浜町立石で

集会前には関電高浜原発  
周辺でデモ行進し、乾式貯  
蔵施設の設置計画の中止  
や、運転開始から11月14日  
で50年を迎えた高浜原発2  
号機の稼働停止などを求め  
る申し入れ書を開電側に手  
渡した。集会終了後も町内  
をデモ行進した。  
市民団体「老朽原発つこ  
かすな！実行委員会」が開  
催。メンバーの木原壮林さ  
ん(82)＝京都市＝は「世界  
では自然エネルギーが台頭  
している。一刻も早く原発  
と決別するべきだ」と訴え  
た。(松本桜希穂)

高浜1号の  
原子炉起動  
関電  
関西電力は30日午後1  
時、定期検査中の高浜原発  
1号機(加圧水型軽水炉、  
出力82・6万kw)の原子炉  
を起動した。順調に進めば  
12月2日に発電を開始し、  
同26日に営業運転を再  
開する見込み。  
(青木伸方)  
乾式貯蔵に「反対」  
反原発団体が訴え  
高浜で全国集会  
反原発を訴える県内外の  
市民団体が30日、高浜町文  
化会館で全国集会を開き、  
関西電力が県内原発の敷  
地内で設置を計画してい  
る使用済み核燃料の乾式  
貯蔵などへの反対を訴え  
た。  
「老朽原発つこかすな！  
実行委員会」が主催し、約  
400人(主催者発表)が  
参加。実行委の中馬哲彦さ



乾式貯蔵施設の設置反対を  
訴えデモ行進する参加者＝  
30日、高浜町湯谷

ん(83)＝小浜市＝は「使用  
済み燃料プールが満杯に  
近づき、乾式貯蔵施設が押  
しつけられた。原発からの  
脱却と自然エネルギーへ  
の全面転換を目指さない  
といけない」と強調した。  
「原発延命のための乾式貯  
蔵にNOを突きつけよう」  
との宣言を採択し、JR若  
狭高浜駅までデモ行進し  
た。  
集会に先立ち、高浜原発  
へもデモ行進し、関電に老  
朽化した原発の廃炉などを  
求める申し入れを行った。  
(林俊介)

2025 年 12 月 1 日 福井新聞



デモ行進する参加者ら＝30日、福井県高浜町

## 「乾式貯蔵施設」計画に抗議

福井・高浜町で集会  
関西電力が原発の延命を  
ねらって原発敷地内に計画  
している「乾式貯蔵施設」  
設置に抗議する全国集会が  
30日、福井県高浜町文化会  
館で開かれ、県内外から約  
400人が結果しました。  
「老朽原発つこかすな！実  
行委員会」の主催で、「原  
発依存の高市政権は許さな  
いぞ」と声を上げながら、  
原発周辺や町中心部をデモ  
行進しました。  
関電は、原発内の使用済  
み核燃料プールが満杯と

## 関電の原発延命許さない

なれば運転できなくなる  
うえ、同燃料を県外搬出す  
るよう県と約束しているこ  
とから、原発敷地に設置す  
る乾式貯蔵施設に空冷保管  
しながら、六ヶ所再処理工  
場(青森県)や県外の中間  
貯蔵施設に搬出する工程表  
を示しています。しかし、  
再処理工場も中間貯蔵施設  
も見通しが立っていない  
と告発しました。  
原発が立地し、乾式貯蔵  
施設計画が進む福井、宮城、  
鹿児島、六ヶ所再処理工場  
が立地する青森、中間貯蔵  
施設計画がある山口の5県  
を含め、全国各地で抗議の  
声を上げる住民から発言  
やメッセージがありまし  
た。

2025 年 12 月  
1 日  
しんぶん赤旗

## 11.30 原発つづけるための乾式貯蔵 NO！全国集会@高浜 集会宣言

10 月 21 日に発足した高市自民・維新連立内閣は、既存（老朽）原発の再稼働、革新軽水炉の新設、防衛力の強化、防衛費増額の前倒しなど、歴代自民党政権に輪をかけて「原発依存社会」「戦争する国づくり」への暴走を加速しています。

原発は、過酷事故を起こしかねないだけでなく、危険極まりなく、行き場のない使用済み核燃料を発生させます。発生した使用済み核燃料は、燃料プールで水冷保管して、放射線と発熱の減少を待たなければなりません。

今、その燃料プールが満杯に近くなっています。関西電力の3原発(高浜、大飯、美浜)の使用済み燃料プールは、3～5年後には、満杯になります。燃料プールが満杯になれば原発を運転できなくなるため、政府や電力会社は、一刻も早く使用済み核燃料を乾式貯蔵に移して、プールに空きを作ろうとしています。

ところが、乾式貯蔵に移した使用済み核燃料の行き場はありません。関西電力は、「使用済み核燃料の中間貯蔵候補地を福井県外に探す。見つからなければ美浜原発3号、高浜原発1、2号の運転を停止する」と何度も福井県知事と約束しながら、未だに候補地を見出せず、約束だけが積みあがっています。

関西電力は、一昨年10月にも、いかにも使用済み核燃料の青森県の再処理工場への搬出が可能であるかのように見せかけた「使用済み核燃料対策ロードマップ」を発表し、その中で、「使用済み核燃料搬出の円滑化のために原発構内に乾式貯蔵施設の設置を検討する」として、福井県内での乾式貯蔵に向けての布石を打ち、今、乾式貯蔵施設の建設を目論んでいます。

しかし、このロードマップは、日本原燃が、昨年8月、27回目の再処理工場の完成延期を表明したことで破綻しました。

中間貯蔵施設の候補地も再処理工場の操業も目途が立っていない現状を見れば、「乾式貯蔵」に移すことは、満杯になろうとする燃料プールに空きを作って、原発の運転継続を可能にしようとする関西電力の策動に他なりません。

原発延命のための乾式貯蔵に NO!を突きつけましょう！

本日、高浜に全国から結集した私たちは、「乾式貯蔵を阻止して原発を止めよう！」「老朽原発動かすな！」「原発の新增設は許さない！」を掲げて大きな声と行動で世論に訴えて行くことを確認しました。危険な原発延命のための「乾式貯蔵」を許さず、危ない老朽原発をとめて、新增設のための調査を中止させ、全原発の廃炉をめざして声を上げ、世論と運動を高めていきましょう！「原発依存社会」へ暴走する高市政権と原発依存経営



にのめりこむ関西電力に NO を突きつけ、原発全廃への決断求め、自然エネルギーへの完全転換、人や環境が大切にされる社会を目指して前進することを、ここに宣言します。

2025 年 11 月 30 日 「原発つづけるための乾式貯蔵 NO！  
全国集会@高浜」参加者一同